

Rotary Yoneyama Memorial Foundation

公益財団法人 ローター米山記念奨学会

2020 学年度

ロータリー米山記念奨学生募集要項

日本の大学・大学院在籍者対象

公益財団法人 ローター米山記念奨学会は

日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として
勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し
奨学金を支給し支援する、民間最大の奨学団体です。

ロータリーとは

地域の人々の生活を改善したいという情熱をもって社会に役立つ活動に力を注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワークです。異なる職業の人々が地域でロータリークラブという会合を持ち、職業を通して社会の発展と国際平和に貢献することを目的に活動している団体です。1905 年アメリカ・シカゴで発足し、今では 200 以上の国と地域に広まり、クラブ数 35,930、会員数 1,224,128 名(2019 年 4 月 11 日 RI 公式発表)に成長しています。日本では 1920 年に、東京で初めてロータリークラブが設立されました。現在、日本ではクラブ数 2,261、会員数 88,912 名(2019 年 3 月末現在)に達しています。

I はじめに

1 目的

ロータリー米山記念奨学会（以下「米山奨学会」と表記）は、留学生の優れた学業の達成を支援し、同時にカウンセラーや世話クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との懸け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることを目的としています。そのため求められる奨学生の資質は「①学業」、「②異文化理解」、および「③コミュニケーション能力」における熱意や優秀性にあります。

ロータリー米山記念奨学生（以下「米山奨学生」と表記）は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

- ①学業 学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をする。
- ②異文化理解 異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。
- ③コミュニケーション能力 人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。

2 特長

奨学金による支援だけでなく、ロータリークラブによる世話クラブとカウンセラー制度があります。米山奨学生は、世話クラブの例会（会合）に毎月1回以上出席し、カウンセラーやロータリークラブ会員（以下「ロータリアン」と表記）との心のふれあいを通して真の国際・文化交流および相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心を共に学びます。

3 ロータリー米山記念奨学生の義務

1. 米山奨学生は、世話クラブであるロータリークラブの例会へ毎月1回以上出席します。
2. 年2回、奨学生レポートを当会に提出します。
3. 例会での卓話(スピーチ)を行い、世話クラブおよびロータリー地区の活動に積極的に参加するなど、ロータリアンとの交流を通して相互理解を深める努力をします。

4 奨学期間終了後も続くネットワーク(学友会活動)

米山奨学生の期間終了後も学友会活動を通して学友(元米山奨学生)同士のネットワークを広げ、ロータリークラブあるいはロータリー組織と連携した活動に参加することができます。

ロータリー米山記念奨学会学友会(元米山奨学生同窓会)は日本国内に33団体、海外では台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマーの9団体、計42団体あります。

II ローターリー米山記念奨学会の誕生とその歴史

1 9万人のロータリアンが支援

ロータリアン米山記念奨学事業（以下「米山奨学事業」と表記）は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家、米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て財団法人ロータリアン米山記念奨学会となり、また、新公益法人制度の施行に伴い、2012年1月4日をもって公益法人へ移行しました。ロータリアン米山記念奨学金はすべて、日本のロータリアンからの寄付によって支えられています。

2 奉仕の人「米山梅吉」

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー（カリフォルニア州）ウェスレアン大学（オハイオ州）、シラキュース大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日のフィランソロピー（Philanthropy）*の基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。

また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもありご自身の生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らない陰徳の人でした。

3 世界の平和を願って

敗戦後の復興が続く1952年、東京ロータリークラブの会員によって「米山基金設立」の構想が立てられました。そして、世界に“平和日本”の理解を促すことを願って募金が始められました。このようにして、東京ロータリークラブから始まった事業は、その後日本国内全クラブの合同事業として発展しました。

「1カ月に1箱のタバコ代を節約して奨学金に」という合言葉から始まった米山奨学事業は、設立以来、累計で奨学金支給者数21,000人を超え、国籍別では129の国と地域となりました。

* Philanthropy: 語源はギリシャ語の「フィラン（愛）」と「アンソロポス（人類）」から由来している。
人類愛・博愛などと訳され、今日では「社会貢献」と訳される。

1 募集と選考の方法

奨学生の募集および申込みは、留学生奨学金担当者（以下「学校担当者」と表記）を通して行われる。日本のローターは 34 地区で組織・構成され、各地区に選考委員会（以下「地区選考委員会」と表記）を設けている。地区選考委員会が、地区とその近隣に所在する学校を指定し、被推薦者数を提示し、学内選考によって相応しい学生の推薦を募るシステムで募集を行う。指定校は地区選考委員会にて毎年協議され、8 月初旬に公表される。指定校にて選抜された被推薦者に対し、地区選考委員会が書類審査・面接選考を実施する。面接は原則として日本語で行われる。なお、連合大学院に属する申込者は、直接指導を受け通学している学校を在籍校とみなし、その在籍校からの推薦が必要となる。また、複数キャンパスがある学校に属する申込者は、通学しているキャンパスの地区の枠での申込みとなる。いずれも指定校になっていることが条件となる。

2 募集人員

新規採用約 550 名（新規採用は継続者の辞退により変動がある）

3 対象

以下の項目にすべて該当する者とする。

- ① 2020 年 4 月に、文部科学省が所管する日本の大学・大学院に在籍又は在籍予定の外国人留学生。
- ② 学位取得を目的としている者。
- ③ 長期履修学生制度の学生は対象としない。

4 応募資格

SAMPLE

下記の項目にすべて該当する者とする。

(1) 国籍とビザについて

- ① 日本国籍を有する者は、応募資格はない。
- ② 応募資格を有する者は、日本以外の国籍（「日本国籍を含まない二重国籍」および「無国籍」を含む）を有し、勉学または研究のための在留資格「留学」で日本に在留している者、または日本の大学に在学中で法務大臣から「難民」の認定を受けて日本に在留している者とする。

※条件付き応募について：応募段階の在留資格が「留学」、「難民」以外の場合は、2020 年 3 月 25 日までに在留資格を変更し、在留カード(PDF データ)を提出することを条件に応募できる。

(2) 指定校推薦制度

指定校は、地区選考委員会が、地区とその近隣に所在する学校を指定し、当会が承認をする。応募者は、指定校に 2020 年 4 月に在籍、進学、編入し（連合大学院に属する申込者は、直接指導を受け通学している学校を在籍校とみなす）、その指定校の推薦を受けた者。複数キャンパスがある学校に属する申込者は、通学しているキャンパスの地区の枠での申込みとなる。指定校は文部科学省が所管する大学を対象とする。

(3) 在籍課程・学年

学 部 課 程 2020 年 4 月に学部課程 3・4 年（医・歯・獣・医学部は 5・6 年）に在籍する者には、応募資格がある。

大学院修士課程 2020年4月に修士課程1・2年に在籍する者には、応募資格がある。

大学院博士課程 2020年4月に博士課程2・3年(医・歯・獣・医学系博士課程は3・4年)に在籍する者には、応募資格がある。

※ 上記と同等とみなされる課程・学年在籍者に応募資格を与える。

※ 修士課程3年制、法科大学院、専門職大学院、薬学研究科、医学系「工学」専攻などは、修業年限によって対象学年が異なる場合がある。

(4) 学業・健康

学業優秀の他、異文化理解、コミュニケーション能力に対する姿勢や関心を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

(5) 博士の学位

「博士」の学位を既に取得している者に、応募資格はない。

ただし既に取得している博士の学位(名称)と異なる研究をする場合には、応募資格がある。

(6) 年 齢

1975年4月1日以降に生まれた者(45歳未満の者)

(7) 他の機関からの奨学金との二重受給の禁止

- ① 当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金(以下「他奨学金」と表記)およびこれと同種の個人に与えられる補助金など同時に受けることはできない。ただし、地方自治体による学習奨励金(在住の留学生全員が受給の対象となるもの)、学術上の貢献に対する一時的な褒賞金・報奨金・賞金、および授業料免除(減額)またはそれに相当する学校の奨学金、研究に直接必要な費用のみを用途とする研究助成は他奨学金とみなさない。
- ② 研究に直接必要な費用以外を含む研究助成もしくは、授業料免除(減額)またはそれに相当する奨学金以外の学校の奨学金などは、受給額によって判断する。大学・大学院年額:57万6千円未満(「留学生受入れ促進プログラム」旧文部科学省外国人留学生学習奨励費相当額に満たない受給額)は併給を認める。それ以上は認めない。複数の受給がある場合は総額の受給額を対象とする。
- ③ 貸与型奨学金等、併給を認める。
- ④ 申込中に他奨学金を受けていても当会奨学金に申し込むことが出来る。ただし、当会奨学金と他奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。
- ⑤ 当会奨学金と同時に他奨学金を受給した場合には当会の奨学生としての資格が取り消され、他奨学金との重複期間の奨学金を全額返済しなければならない。

種 類	併給の有無
他奨学金	× 金額に関係なく併給を認めない
地方自治体による全留学生対象の補助金・奨励金・奨学金	○ 併給を認める
地方自治体による選ばれた者のみの補助金・奨励金・奨学金	× 併給を認めない
授業料免除・授業料減額 または相当する学校の奨学金	○ 併給を認める
一時的な褒賞金・報償金・賞金	○ 併給を認める
研究助成（研究に直接必要な費用のみ使途とする）	○ 併給を認める
・ 上記にあたらない学校による奨学金など ・ 上記にあたらない研究助成	△ 年額受給費によって判断する。 ○ 金額 < 57 万 6 千円 × 金額 ≥ 57 万 6 千円
貸与型奨学金	返済義務が明確なものに関しては、給与するものではないとみなして、併給を認める。

(8) 米山奨学金の非重複性

過去に米山奨学金を受給した者には、応募資格はない。

5 奨学金と奨学期間

(1) 奨学金額

奨学金種類	奨学金額
学部課程ロータリー米山記念奨学金	月額 10 万円
修士課程ロータリー米山記念奨学金	月額 14 万円
博士課程ロータリー米山記念奨学金	

(2) 奨学金支給期間

採用された際の学年、および在籍課程への入学月によって奨学期間が異なる。在籍課程へ 9、10 月に入学している場合は、以下のとおり奨学期間が短縮される（終了年月は、各大学の課程修了年月によって異なる場合がある）。期間途中で課程を修了する場合はその修了年月で奨学期間が終了する。

【4月入学】

2020 年 4 月採用時の課程・学年	支給期間	奨学期間開始	奨学期間終了
学部3、医歯獣医学部5、修士1、博士2、医歯獣医学系博士3年目の場合	2 年間	2020 年 4 月	2022 年 3 月
学部4、医歯獣医学部6、修士2、博士3、医歯獣医学系博士4年目の場合	1 年間		2021 年 3 月

【9・10月入学】

2020 年 4 月採用時の課程・学年	支給期間	奨学期間開始	奨学期間終了
学部3、医歯獣医学部5、修士1、博士2、医歯獣医学系博士3年目の場合	9月入学 : 1年5(6)ヵ月	2020 年 4 月	9月入学 : 2021 年 8(9)月
	10月入学 : 1年6ヵ月		10月入学 : 2021 年 9月
学部4、医歯獣医学部6、修士2、博士3、医歯獣医学系博士4年目の場合	9月入学 : 5(6)ヵ月		9月入学 : 2020 年 8(9)月
	10月入学 : 6ヵ月		10月入学 : 2020 年 9月

* 4月以外の入学の場合、奨学期間が短くなる。

* 入学後、休学した期間がある場合は、課程修了年月を起点に最長2年間の奨学期間となる。

6 応募手続について

(1) 応募方法 *個人による当会への申込書の送付、持参は受け付けません。

- 申込者は、申込用紙を米山奨学会ホームページ (<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>) からダウンロードし、必要事項を記入の上、学校の該当窓口へ提出する。
- 学校担当者は、以下①から⑧の申込書類等の記載内容を点検・確認し、全員の書類をとりまとめて専用 WEB 画面で申込申請を行う。発送は受け付けません。⑨のみ学校担当者経由のメールで受け付ける。

(2) 必要書類と提出に際しての注意

申込書類は、以下の通り。申込者が手書きで日本語ですべて記入すること。記入は黒インク又は黒のボールペンではっきりとご記入ください。読み取れない場合は、その用紙が選考資料から外れます。

① 米山記念奨学生申込書	本人が記入した内容を学校担当者が専用 WEB 画面に入力する。
② 顔画像データ 3 か月以内に撮影したもの。上半身正面像 4.0 cm×3.0 cm。1MB 以内。 写真店などで受け取ったデータまたはスマートフォン向け証明写真作成アプリケーションを利用した画像データなどを学校担当者に提出すること。	学校担当者は、申請登録の際、jpeg、png、gif 形式で左記のサイズ、容量で専用 WEB 画面からアップロードする。
③ 経歴書	
④ 指導教員からの推薦状 必ず、指導教員の認印を押す。入学者、編入学者は、入学・編入学先の教員でなく、現在の指導教員による推薦状を提出する。学部生は、「指導教員もしくはこれに準ずる教員」とする。1 枚に収め、ワードなどで作成の場合は、A4 用紙に所定用紙と同じ項目を記載すること。 ※日本語でない場合は訳をつけてください。※外国人教員で印を使用しない場合は署名のみで可	学校担当者が PDF 化し、WEB 専用画面でアップロードする。
⑤ 研究計画書（当会所定用紙使用） 800 字以内。日本語で黒インクまたは黒のボールペンを使用し、被推薦者本人が記入すること。所定の原稿用紙を使用のこと。所定用紙以外の提出は認めない。 テーマ：学部生「現在の学習・履修状況と卒業後の進路」 大学院生「大学院での研究予定または現在までの研究状況」	注) ③～⑥は、アップロードの前に、専用 WEB 画面にて付与される「申込番号」を担当者で必ず記入すること。
⑥ 小論文（当会所定用紙使用） 800 字以内。日本語で黒インクまたは黒のボールペンを使用し、被推薦者本人が記入すること。所定の原稿用紙を使用のこと。所定用紙以外の提出は認めない。 テーマ：「なぜ、留学先に日本を選んだのか。日本留学を終えた後の将来計画」	
⑦ 日本における前年度の成績表、あるいは提出可能な最近の成績表 海外の学校から日本の学校へ入学予定で、日本の成績表が出ない場合、または学校の制度によりまだ成績が出ない場合は不要。面接に間に合う場合は会場に持参し提出。それ以降は受け付けません。成績表という名称でなくても成績、単位取得が確認出来るものであれば良い。	
⑧ 在留カード（被推薦者本人を証明するもの） 写真の付いている面の PDF データ。文字がはっきり見えるもの。 ・在留期間：在留期限が 2019 年 10 月 1 日以降。 ・国籍：日本国籍以外（「4. 応募資格の(1)国籍とビザ」を満たすこと） ・在留資格：留学（難民認定を受けているものは「難民認定書」を追跡出来る形で当会宛に送付すること）「留学」、「難民」以外の場合は、2020 年 3 月 25 日までに在留資格を変更し、メールに添付して提出すること (宛先 gakumu@rotary-yoneyama.or.jp)。	学校担当者が PDF 化し、WEB 専用画面でアップロードする。
⑨ 合格通知・編入学許可書 2020 年 4 月に編入学予定、入学予定の者は、下記 A あるいは B のいずれかを提出する。 A. 編入学許可書の PDF。 B. 合格通知書の PDF。 * 申込書に記入した 2020 年 4 在籍予定校（学部・研究科、専攻）に不合格になった者は、学校担当者を通して当会へ連絡すること。この時点で応募資格を失う。	学校担当者は、入手出来次第、メールに添付し提出する(宛先 gakumu@rotary-yoneyama.or.jp)。提出の最終期限は 2020 年 3 月 25 日。ただし、高専専攻科 1 年または修士 1 年合格者に関しては事情により期限を考慮する場合がある

必要書類以外(指導教員以外の推薦状や研究資料など)は、受理しない。送付された場合は、審査の対象としない。

(3) 申込締切

締切: 10月15日

被推薦者は、2020年4月に在籍(進学、編入)する指定校の担当者へ各指定校の定める学内募集期間内に申込書類を提出する。学校担当者は、期限内に専用Web画面にて登録申込みを完了する。

* 連合大学院に属する学生は、直接指導を受けている(通学している)大学を在籍校とみなす。その在籍校が指定校となっている事が条件となり、その指定校から申込みをする。

7 選考試験

- (1) 選考試験案内:** 指定校担当者宛に、2019年11月下旬～12月下旬通知
※指定校担当者専用 Web 画面にて公表。地区によっては地区からも案内が發送される。
- (2) 選考試験対象者:** 被推薦者全員に選考試験を実施する。
- (3) 選考試験日程:** 2019年12月初旬～翌年1月末日の間に実施する。地区によって日時場所が異なり、学校担当者が専用WEB画面から確認が出来る。11月中旬頃から報告の早い地区から順にアップデートしていく。被推薦者は、学校担当者から日時・場所などが伝えられる。
- (4) 選考試験内容:** 面接試験。面接は原則として日本語で行われる。地区によって筆記試験を実施する場合がある。
※合格した場合の奨学期間内に、留学を予定している場合は面接で申し出てください。
- (5) 受験場所:** 推薦を依頼したロータリー地区で選考試験が実施される。
* 連合大学院に属する学生の場合、直接指導を受け通学している大学を在籍校とみなす。

SAMPLE

8 選考結果発表

選考内定結果は、12月中旬～2月初旬頃に、**決定地区順に指定校担当者専用 Web 画面にて公表**すると共に、3月末までに合格結果が**学校担当者あてに送付される**。複数の地区から推薦依頼があった学校には、地区ごとに通知が送付される。**学校担当者は、合格者に合格通知を配付する**。また、不合格者のみの学校へは郵送はせず、メールにて**3月末まで**に不合格を連絡する。結果発表後、合格内定者は、3月1日までにWEB上で奨学金受給回答と連絡先などの登録を行う。Web上の登録方法は、Webでの合格内定公表の際、案内をする。尚、地区内で合格者(または合格内定者)が辞退した場合、不合格者から繰り上げ合格(または合格内定)とする。ただし、繰り上げ期限はその地区のオリエンテーション開催日(4月～5月中旬頃)までを期限とする。

* 合否に関する問い合わせには、一切答えない。

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
Tel (03) 3434-8681 Fax (03) 3578-8281
メール gakumu@rotary-yoneyama.or.jp

申込書類記入に関する注意点

▶ 氏名

申込書一枚目の氏名記入欄は、姓・名の区別のない氏名の方は、姓の欄にご記入ください。その他、収入・家族構成、推薦状、研究計画書、小論文の氏名記入欄は、漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナでご記入ください。

▶ 対象学年

修士課程3年制、法科大学院、専門職大学院、薬学系研究科、医学系「工学」専攻などは、その課程の修業年限によって対象学年が異なる場合があります。いずれの課程でも、課程修了の最後の2年間が対象となります。

▶ 在留資格

申し込み時点で、「留学」、「難民」（地区奨励は、「留学」、「難民」、「研修」、「文化活動」）でなくても、申し込みは可能です。翌年3月25日までに在留資格を変更した「在留カード(PDF)」をご提出ください。申込時点では、その時の在留資格をご記入ください。

▶ 指定校制度

当会の指定校制度は、日本国内34地区に分かれるロータリー地区毎に、その地域内に所在する学校キャンパスを指定校とする制度となります（下記「地区を越えた指定校」以外）。奨学金が始まる年の4月に在籍予定のキャンパスが、指定校になっていない場合は申込みできません。また、複数の県にまたがってキャンパスを持つ学校は、同じ学校でもキャンパスごとに指定校になっているかをご確認いただく必要があります。

▶ 地区を越えた指定校制度

当会の指定校制度は、基本的に、ロータリーの地区がその地区内に所在する学校のキャンパスを指定する制度ですが、より優秀な学生の採用を目的に、近隣地区のキャンパスを「地区を越えた指定校」制度により指定校とする場合があります。そのため、学校所在地区以外の地区から指定を受ける場合があります。学校によっては、同じキャンパスで複数の地区から指定を受ける場合もあります。複数の地区から指定を受けている場合は、それぞれの地区に通うことを想定し、その地区に通える学生をご推薦ください。

▶ 大学院、5年一貫制博士課程

博士一貫性制をとっている大学院は、前半2年間で修士（前期）相当とし、後半3年間で博士（後期）相当とします。そのため、奨学期間の始まる4月現在の学年が、博士一貫制1,2年を修士1,2年、博士一貫制4,5年生を博士課程2,3年生として応募対象とします。入学年月、卒業年月も前期と後期に分けてご記入ください。

▶ 指導教官からの推薦状

- (1) 経済的な困窮度は、選考の対象となりません。推薦内容は、経済面以外の内容をご記入ください。
- (2) 推薦状を、推薦者経由にて学校担当者に渡される場合は、必ず厳封してお渡しくください。
- (3) ワードなどで打ち込む場合は、指定用紙の内容と同じ項目を記載し、必ず押印をしてください。
- (4) 4月に、進学・編入学する学生は進学・編入学先の教員ではなく、現在の指導教員による推薦状を提出していただきます。
- (5) 学部生は、「指導教員もしくはこれに準ずる教員」とします。

▶ 研究計画書・小論文

必ず本人が日本語でご記入ください。横書き800字以内（所定用紙2枚）となります。内容は誰にでもわかるように、わかりやすい内容としてください。

申込から採用までのQ&A

Q1. 合格後にすることはありますか？

A. 合格者は、合格通知と一緒に送付する案内の通り、3月1日までにWEB上で奨学金受給回答と連絡先などの登録を行ってください。

Q2. 合格通知をもらったらもう奨学生ですか？

A. 奨学生になるためのオリエンテーションが4月中旬以降に各ロータリー地区で開催されます。このオリエンテーションにて、奨学生の心得や基本的な約束事項の説明を受け、「確約書」に署名をしていただくと正式な奨学生となれます。

Q3. いつから奨学金を受け取ることができるのですか？

A. 上記オリエンテーションに参加して確約書に署名したあとに支給されます。

【4、5月分の奨学金】：地区によって下記のいずれかの方法で支給されます

- ①オリエンテーションの席上で支給
- ②オリエンテーション終了後、後日、世話クラブで支給
- ③オリエンテーションで4月分、後日、世話クラブにて5月分支給

Q4. オリエンテーションの日程はいつわかりますか。欠席した場合どうなりますか？

A. オリエンテーション開催一ヶ月前頃に開催地区から案内が送られます。地区によって、大学経由で送られる場合と奨学生に直接送られる場合があります。更に、当会ホームページトップページの「News & Topics」にて、全地区の日程・場所を公表致します。欠席は、原則として認められません。

Q5. 奨学金はどのようにして受け取るのですか？

A. 世話クラブの例会に出席した際に、当月の奨学金が支給されます。当会の奨学金は、世話クラブ・カウンセラー制度という、経済的支援にとどまらない心の交流が大きな特長となるため、銀行振込による支給はしません。奨学生になる方は、奨学金をもらいに来ているだけ”という奨学生にはならないようにしていただきたいと思えます。

Q6. 奨学期間中に休学をする予定です。申込は出来ますか？

A. 申込は可能です。申込書でも、3ヶ月以上の出国や休学予定を聞いていますが、記入後に出国予定や休学予定が決まりましたら、面接などで事前に地区へ申し出てください。奨学期間中に、正式に休学が決定した場合は、休学申請が必要となります。ただし、クラブや地区主催の行事への欠席が続いたり、積極的に休学を利用して奨学生としての義務*が果たせない学生は奨学生としてふさわしくないと判断される場合があります。当会の奨学金は、単に、奨学金を渡すだけではなく、クラブ・地区での交流を通じて国際理解やロータリー精神などを学んでいただくことを主な目的としています。学校担当者の方は、留学、出産、育児、介護、病気で帰国等長期に不在となる状況の有無をあらかじめ確認のうえ、奨学生の義務を果たせる方をご推薦ください。

Q7. 申込後、病気(または妊娠・出産・怪我など)をしました。どのような手続きが必要ですか？

A. 面接やオリエンテーション開催前の場合は、至急、学校担当者から地区または奨学会へご連絡いただくことが必要です。奨学生としての義務*が果たせない場合は、申込や合格を辞退していただく場合もあります。また、合格後は世話クラブへも丁寧に十分な事情説明をし、ご理解いただくことが必要です。

Q8. 申込後、応募資格に関わる変更があった場合はどうしたら良いですか？

A. 面接やオリエンテーション開催前の場合は、至急、地区または奨学会へご連絡ください。在留資格を「留学」、「難民」(地区奨励は、「留学」、「難民」、「研修」、「文化活動」)に変更する場合は、「在留カード(PDF)」の提出によりご連絡いただいたとみなします。

*奨学生としての義務：確約書参照

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

2020 学年度ロータリー米山記念奨学生申込書

※Family name(姓)と First name(名)を区別しない氏名の場合は全て Family name(姓)の枠にご記入ください。(マレーシア、インドネシア、ミャンマー等の方はご注意ください)			
氏名	Family name(姓)	First name(名)	Middle name
	英文(English)	英文(English)	英文(English)
	漢字(中国・韓国・台湾は必須)	漢字(中国・韓国・台湾は必須)	
	カタカナ	カタカナ	カタカナ
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日 年 月 日 (歳)	国籍・地域 <small>注1</small>
出生地	※中国籍の方のみパスポート記載の出生地をご記入ください。 省区市		
2020年4月からの在籍予定校と学年 ※連合大学院の場合は、通学している学校	学校名	大学以外	<input type="checkbox"/> 短大・高専・専修学校 ()年 <input type="checkbox"/> 高専専攻科()年 <input type="checkbox"/> 専修学校高度専門士課程()年 <input type="checkbox"/> その他
	学部・研究科	学部	<input type="checkbox"/> 学部()年→4年制の課程。医学系で4年制もこちら。 <input type="checkbox"/> 医・歯・獣・薬学部()年→6年制の課程
	学科・専攻	修士	<small>注3</small> <input type="checkbox"/> 修士()年
		博士	<small>注3</small> <input type="checkbox"/> 博士()年→3年制の課程。医学系で3年制もこちら。 <input type="checkbox"/> 医・歯・獣・薬学博士()年→4年制の課程
入学月	月入学	2020年4月在籍予定校に編入学予定ですか？既に在籍、あるいは、修士・高専専攻科入学予定の方は「いいえ」にチェックを入れてください。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
卒業予定年月	年 月		
2019年10月現在、博士の学位を取得していますか？ <input type="checkbox"/> はい (博士号名称:) <input type="checkbox"/> いいえ			
米山奨学金を受給したことがありますか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ			
右記に該当する場合にチェックを入れてください。	<input type="checkbox"/> 修士修業年限3年制 <input type="checkbox"/> 専門職大学院 <input type="checkbox"/> 法科大学院		
連合大学院在籍者は在学証明書が発行される学校(基幹校)名を記入してください。	連合大学院名		

注1) 国籍・地域：台湾の場合は、在留カードに表示される国籍・地域が中国であっても台湾とご記入ください。
 注2) 在留資格：申込み時点で「留学」、「難民」(地区奨励は「留学」「難民」「研修」「文化活動」)でなくても、翌年3月25日までに在留資格を変更し「在留カード(PDF)」を提出する予定であれば申込みは可能です。現在の在留資格をご記入ください。
 注3) 2020年4月在籍予定校：博士課程一貫制の制度を設けている学校は、博士課程前期を「修士」、後期を「博士」と記入。

経歴書

申込番号 (学校担当者記入：専用 WEB 画面参照)

20RY

氏名漢字 (漢字名がある者のみ、公的に使用している漢字を記入)		英文氏名 英語の敬称 (Mr./Ms.) が付いた時の英文氏名を記入してください。奨学会が発行する、英文証明書の氏名順を確認するためご記入いただきます。	
		Mr./Ms.	
現住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
携帯電話 (ない場合は自宅電話)	- -		
E-mail アドレス	@		
母国住所 (英文または漢字/ 郵便番号、国名含む)			

注：高等学校・高等専門学校入学から 2019 年 10 月に至るまでの学歴を記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入。高等学校を卒業せず大学検定合格等の場合は、試験名と合格年月日を記入。

学歴	期 間		学校名 ※高専や大学 (院) の場合は学部・研究科/学科・専攻/課程などを記入。 (例：米山大学 文学研究科 日本文学専攻 博士課程)	キャンパス所在国
	年 月 入学 年 月 卒業			
年 月 入学 年 月 卒業				
年 月 入学 年 月 卒業				
年 月 入学 年 月 卒業				
年 月 入学 年 月 卒業				
年 月 入学 年 月 卒業				
年 月 入学 年 月 卒業				
年 月 入学 年 月 卒業				
年 月 入学 年 月 卒業				
年 月 入学 2019 年 10 月 現在				

学校担当者の方へ

上記「申込番号 (学校担当者記入)」は、専用 WEB 画面にて申込書内容を登録時に付与される「申込番号」となります。学校担当者が転記してください。当用紙と以下提出書類 (経歴書 2/3、3/3、指導教員からの推薦状、研究計画書、小論文他) はアップロード用に PDF 化する前に必ずご記入ください。

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)	申込番号 (学校担当者記入) 20RY
-------------------------------	-------------------------------

2020年4月の在籍校と学年	2020年4月在籍の学校名	通学キャンパス所在地 (都道府県・市区町)
		都道 府県
	2020年4月の課程・学年	市区郡
	学部 () 年 修士 () 年 博士 () 年 高専専攻科 () 年 専修学校高度専門士課程 () 年 その他 () () 年	2020年4月在籍校の入学 or 編入学・卒業予定 年 月 入学 年 月 () 年次に編入学 年 月 卒業予定

上記学校在籍中、休学した場合は以下をご記入ください。

休学期間 年 月 ~ 年 月	休学理由:
復学年月 年 月	
復学した課程・学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください) 学部・修士・博士・その他 () 年生	

上記学校在籍中、留年した場合は以下にご記入ください。

留年した年月 年 月	留年理由:
留年により重複した課程・学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください) 学部・修士・博士・その他 () 年生	

職歴 (兵役を含む)	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容	勤務期間
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月

奨学期間予定中に、日本を3ヵ月以上離れる予定、もしくは休学予定はありますか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ↓ 出国 ・ 休学 (該当するものに○をご記入ください) 期間: 年 月 日 ~ 年 月 日 理由:
----------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)	申込番号 (学校担当者記入) 20RY
-------------------------------	-------------------------------

(注) 2019年10月の状況を記入

右記情報は、合格後、世話クラブへの参考資料とさせていただきます。選考には関係ありません。	収入	2019年10月現在 受給中の奨学金		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 名称 / 月額 円 / 期間 年 月まで ※他奨学金受給中も当会奨学金に申込みことができます。ただし、当会の奨学金に合格後、二重受給になる場合はどちらの奨学金を受給するかを選択していただきます。		
		仕送り		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (仕送り人続柄:) 月額 円		
		アルバイトなどの給与		複数の場合は複数の内容を記入し月額合計額 (内容:) 月額 円		
		その他		(内容:) 月額 円		
	日本に在留する親・配偶者の収入	奨学金 (名称:)		月額 円		
		(期間: 年 月 ~ 年 月)		月額 円		
	その他収入		(内容:) 月額 円			
	家賃 (アパート・寮・その他)	月額 円	授業料 (入学金、施設費等は含まない)	2019年10月現在 年額 円		
				上記の内自己負担額 円		
	全額免除されている場合は、自己負担額を0と記入し、減免されている場合は自己負担のみの額。現在、減免申請をされていて結果がまだわからない場合は減免無しでの額を記入					
①～⑤は必ず記入すること。該当しない場合は「なし」と記入すること。						
氏名	続柄	年齢	国籍	現住所(国・都市名のみ)	勤務先・在学名	備考
	① 配偶者			SAMPLE		
	② 子供					
	③ 父					
	④ 母					
	⑤ 兄弟姉妹					

(注) 家族の中に以下に該当する者がいる場合、備考欄に必ず記入すること。

- ・過去に米山奨学生であった者(奨学金種類・奨学期間)
- ・現在、米山奨学生である者(奨学金種類・奨学期間)
- ・米山奨学金申込み予定者(米山奨学金申込み・在籍大学)
- ・親、配偶者が日本に在留する場合(在留資格)
- ・国費奨学金あるいは他の奨学金受給者(奨学金名・月額奨学金・奨学期間)
- ・死亡した者については、氏名・国籍を記入し、備考欄に死亡と記入

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)

申込番号 (学校担当者記入)

20RY

研究計画書

下記のテーマについて、必ず本人が日本語、800字以内、横書きで記入してください。
黒インク又は黒のボールペンを使用すること。誰にでもわかりやすくご説明ください。

学部生・地区奨励：「現在の学習・履修状況と卒業後の進路」

大学院生：「大学院での研究予定または現在までの研究状況」

SAMPLE																			
SAMPLE																			

18×20

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)	申込番号 (学校担当者記入) 20RY
-------------------------------	------------------------

研究計画書

SAMPLE																			
SAMPLE																			

氏名（日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ）	申込番号（学校担当者記入） 20RY
------------------------------	------------------------------

小論文

下記のテーマについて、必ず**本人が日本語、800字以内、横書き**で記入してください。
黒インク又は黒のボールペンを使用すること。

テーマ：「なぜ留学先に日本を選んだのか。日本留学を終えた後の将来計画」

SAMPLE

SAMPLE

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)

申込番号 (学校担当者記入)

20RY

小論文

SAMPLE

SAMPLE